

令和2年（2020）年頭のご挨拶

「今日よりすばらしい明日を夢みて」

新潟県議会議員 尾身孝昭

年頭にあたり謹んで新春のお喜びを申し上げます。

昨年は元号が平成から令和に改まり、歴史的な皇位継承から新時代の幕開けの到来にひとつ先を見つめ、心新たに日本という国を考える年となりました。

昨年5月に北海道佐呂間町で記録された39.5℃は5月に真夏日は観測史上初であり、全国的に猛暑日が続き上越市では40.3度と全国一の暑さとなりました。出穂時に猛暑日が続き、本県においてコメの等級が下がり改めて高温に強い米づくりの研究をして行かなければなりません。

6月東京に33日間連続の雨（65年ぶり）や九州に災害級の豪雨、10月台風15号で千葉県は長期停電となり、地球温暖化による気候変動で数十年に一度と言われる台風19号の記録的大雨で生誕地まつりは中止となり全国に大きな爪痕を残しました。津南町でも信濃川の越水や清津川・渋海川の氾濫や道路の決壊などで被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昨年新潟県では初の国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が開催され、十日町市においても多くの市民の皆様と芸術の大切さを感じ楽しませて頂きました。

ラグビーワールドカップ初の日本開催は日本チームが奇跡の初のベスト8となり多くの感動を頂き「ワンチーム」の言葉が流行語大賞となりました。

MGCオリンピック代表選考会において服部勇馬選手（十日町市中里出身）の東京2020五輪マラソン大会出場が決定し、その後の新潟県駅伝競走大会において十日町男子チームが20年ぶり7回目の優勝を果たし、十日町女子チームも22年ぶりに優勝、また県中学校駅伝大会においても男子は津南中学校（その後の全国大会で13位）が、女子は十日町南中学校（全国大会で8位入賞）が優勝し改めて当地域の底力が発揮されました。

「命と学びは平等」の下に、新十日町病院は本年秋に県立では初の地下駐車場を完備した病院が開院し、また定員40人で三ヶ年の県立十日町看護専門学校も県立では50年ぶりに今年4月に開学致します。

魚沼基幹病院を核に十日町病院を中心（センター）として県立松代病院、町立津南病院、開業医・診療所と連携して安心して暮らせる医療環境を整えてまいります。また精神医療についても当地域に入院を備えた病院は必要であります。

少子化は全てに影響を及ぼしますが、本県の重要課題の一つが人口減少問題であり県立高校においても少子化による定員割れが大きな課題であります。県立高校将来構想によればあえて小規模であることが教育効果を高める学校についても道を開いており、基本的には「県外の生徒も学びたくなる魅力的な学校

づくりの推進」 「地域との連携を進化させた人づくりの推進」を掲げていることも踏まえ、公共交通機関の便の悪い山間豪雪地を抱える地域においては学級数のみではなく特色ある個性を伸ばす魅力ある高校にすべく皆様と御一緒に提案してまいります。

本校となった県立川西高等特別支援学校は卒業後の就職を見据えて中学生も一緒に学べる六年間の職業訓練も視野に入れた学校にしてまいります。

昨年県は新たに観光局を開設し、交流人口の拡大に向けてこれからの観光事業に力を入れ、当地においても大地の芸術祭をはじめインバウンドも含め入込み客の増加が期待できます。

「雪国観光圏」でも連携している群馬県、長野県との上信越三県トライネット構想の下に、本県の空港や港湾などそれぞれの強みを活かし更なる連携により広域的な政策課題等に対応していくため、引き続き情報の共有と意見交換を行ってまいります。

中里清津峡溪谷トンネルがNHK Eテレ「おもてなしの基礎英語」のテキストの表紙になり星峠の棚田、美人林などを教材に1月6日から放送されております。

雪に強い飯山線と共に上越魚沼地域振興快速道路十日町道路（八箇峠トンネルから十日町インターを含む吉田地域まで）の整備や、国道353号十二峠新トンネルの開削に向けて活動を続けております。長野県からの玄関口であります国道117号津南町地内の新灰雨トンネルも着工に向け進んでおります。

昨年10月に高鳥修（90歳）元国務大臣と白川勝彦（74歳）元自治大臣のお二人がご逝去されました。新潟県妻有地域は基より日本の発展にご尽力頂きました御礼を申し上げますとともにご冥福をお祈りいたします。

新潟県は厳しい財政状況の中、行財政行動計画の下に花角知事と共に「入るを量りて出ざるを制す」を肝に銘じ活動してまいります。

地域の元気は産業発展でありこれからも若者の働く場づくりとして力強い産業政策に取り組み、地方の景気回復に向け引き続き力を入れてまいります。

2019年の漢字は「令」、ちなみに2018年の漢字は「災」でした。本年が災害の少ない穏やかな一年となりますことと皆様にとりまして元気に輝く素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。